

総合的な学習の時間全体計画

児童の実態		学校教育目標		関係法規・教育方針	
・ 明朗で素直である。 ・ 外で元気よく遊ぶ児童が多い。 ・ 深く考え、判断し、実践しようとする力の育成が必要である。		関わり合いながら進んで学ぶ、 人間性豊かな「かどわきっ子」の育成 （めざす児童像） ○ やさしく（共感できる子ども） ○ かしこく（考動できる子ども） ○ たくましく（心も体も元気な子ども）		・ 憲法 ・ 教育基本法 ・ 学校教育法 ・ 学習指導要領 ・ 県、市の教育方針及び目標 ・ 地域社会の要請 ・ 家庭、地域社会の実態と願い	
<div><div>各教科</div><div>特別の教科 道徳</div><div>総合的な学習の時間</div><div>外国語活動</div><div>特別活動</div></div>					
本校における「総合的な学習の時間」の目標					
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成する。 ○ 探究的な学習を通して、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究的な学習のよさを理解する。 ○ 探究的な学習を通して自分で課題を立て、情報を集め整理・分析して、まとめ・表現することができる。 ○ 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に地域社会に関わろうとする態度を養う。					
「総合的な学習の時間」指導の重点					
1 一人ひとりの児童が自らの力で問題を発見し、解決の見通しをもち、追究し、表現するという探究的な過程を大切にする。 2 児童の興味・関心に基づき、体験的・問題解決的な学習活動を重視する。 3 各教科、領域で培った力を積極的に活用する。 4 環境（普賢岳災害教育・防災教育）、福祉、情報などの横断的・総合的な課題について、積極的に取り上げる。 5 学習環境の整備を進めたり、地域の教育力（人材・行事・施設）を積極的に活用したりする。 6 心豊かに、共に生きようとする児童の育成をめざす。					
	ふるさと教育・災害防災教育		福 祉	情 報	キャリア教育
具体的 目標	・ 自然の脅威と大切さを知り共に生きようとする児童の育成 ・ ふるさとのすばらしい歴史や先人の生き方・考え方を知り、郷土を誇りに思う児童の育成		・ 誰とでも仲良く互いに認め合うことができる児童の育成	・ 情報モラルに応じて情報を収集・処理し自分の思いを表現・伝達する児童の育成 ・ タブレットを効果的に活用できる児童の育成	・ 自らを見つめ、自己の生き方について考える児童の育成
育成を めざす 具体的 な資質・ 能力	知識及び技能		地域やふるさとのすばらしさ、環境（普賢岳災害）の現状や防災の現状、未来像と自分たちの生活との関わりが分かる。		
			情報を比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。		
	思考力、 表現力、 判断力、 等	課題の設定	自分や地域の人々等の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、解決方法を考えて追究している。		
		情報の収集	目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。		
		整理・分析	問題状況における事実や関係を、比較したり分類したりして、多様な情報の中にある特徴を見付けている。		
		まとめ・表現	相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現している。		
		振り返り	学習したことを振り返り、学習や生活に生かそうとしている。		
	学び に 向 か う 力、 人 間 性	主体性	課題意識をもって、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。		
		協働性	課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組んでいる。		
		自己理解	自分の生活を見直し、自分のできることに気付いている。		
		他者理解	自分と異なる意見や考えがあることに気付き、相手の立場を理解する。		
	社会参画		自分と地域とのつながりに気付き、地域と進んで関わる。		